

令和2年第14回教育委員会会議

1 日 時

令和2年10月19日（月）

開会 13時30分

閉会 14時09分

2 場 所

県庁行政庁舎 11階 1109会議室

3 出席者

徳田博教育長、新屋長二郎委員、新家久司委員、眞鍋知子委員、高野勝委員、浅蔵一華委員

4 説明のため出席した職員

飯田重則教育次長、杉中達夫教育次長、塩田憲司教育次長、岡崎裕介教育次長兼庶務課長、江尻祐子教育次長兼学校指導課長、中村義治教職員課長、清水茂生涯学習課長、山下幸則文化財課長、村戸徹保健体育課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第30号 令和2年度石川県優秀教職員の決定について（原案可決）

6 報告案件

第1号 令和3年度石川県公立学校教員採用候補者等の選考結果について

第2号 重要文化財の指定について

第3号 令和2年度いしかわマスター教員の決定について

7 審議の概要

・開会宣告

徳田教育長が開会を告げる。

・会議の公開・非公開の決定

議案第30号及び報告第3号は人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき非公開とすることを、全会一致で決定。

・質疑要旨

以下のとおり。

報告第1号 令和3年度石川県公立学校教員採用候補者等の選考結果について（中村
教職員課長説明）

資料1ページをご覧ください。まず、「1 候補者数」についてですが、教諭及び養護教諭については、受験者総数1098人から採用候補者として315人を選考いたしました。この結果、受験倍率は昨年度より0.1ポイント減少し、3.5倍となりました。

採用候補者を受験区分別に見ますと小学校が135人、中学校及び高等学校が130人、特別支援学校が35人、養護教諭が15人となっております。表の中で丸かっこ書きとじていますのは、「障害のある受験者を対象とした選考」の結果を内数で示しており、全体で受験者3人の中から2人を選考しております。

中・高等学校の教科別の状況等については次ページをご覧ください。受験区分および中・高等学校の教科別、特別支援学校の学部別等における採用候補者の内訳や倍率の一覧でございます。合計欄で角かっこ書きとじていますのは、正規教員として3年以上の勤務経験を有する受験者を対象とした特別選考区分Ⅲの結果を内数で示しており、受験者37人の中から25人を選考しております。

また、表の中ほどの工業の欄にある丸かっこは、民間企業等に正規職員として3年以上の勤務経験を有する工業受験者を対象とした特別選考区分Ⅳの状況を内数で示しており、受験者2人の中から1人を選考しております。

表の下の方にある、特別支援学校区分の採用候補者35人の内訳は、小学部が15人、中・高等部が20人であります。

その他としましては、表への記載はございませんが、受験者における新卒者の割合が増加したことにより、採用候補者に占める新卒者の割合は47%となり、昨年度より4.1ポイント増加して、過去10年で平成30年度に次ぐ2番目の高さとなりました。

一方、講師経験者の受験者に占める割合が減少したことにより、採用候補者に占める講師経験者の割合は、42.2%となり、昨年度より8ポイントの減少となっております。

前ページにお戻りください。ページ中ほどの栄養教諭ですが、昨年度より実施している、栄養教諭の一般選考につきましては、受験者9人の中から1人を、現職の学校栄養職員から任用替を行う栄養教諭の特別選考につきましては、受験者6人の中から1人を選考しました。

「2 結果発表等」につきましては、10月9日午後3時に、採用候補者の受験番号を県教委のホームページ等で公表するとともに、全受験者宛てに結果を送付したところでございます。

採用内定者が、4月から自信と熱意を持って教師生活をスタートできるように、採用前の研修として、いしかわ師範塾でウォームアップセミナーを12月から3月にかけて、5講座、実施することとしております。

なお、今回選考漏れとなった方々には、結果通知とともに来年度の講師申込書を送付したところでございます。ぜひ、講師として経験を積み、次年度の採用試験の採用候補者を目指していただき、教職に対する意欲を失わず、頑張ってもらいたいと考えております。

(新家委員)

直接的な質問ではないのですが、この合格者の割合として、石川県の出身者というのはどのくらいいるのでしょうか。

(中村教職員課長)

県内出身者という定義が難しいですが、帰省先が石川県の住所である者を県内出身者と考えると、県内出身者は83%でございます。262人です。

(新家委員)

追加で質問します。県内の大学出身者の統計はありますか。なければ結構です。

(中村教職員課長)

手元には資料がございません。お時間を頂きます。

(新家委員)

分かりました。結構です。ありがとうございます。

(眞鍋委員)

個別の科目のことを言うのはあまりよろしくないのかもしれないのですが、中・高の国語教員の倍率が2.1倍ということで、非常に低くなっております。2年ぐらい前に3倍を切って、これは非常に大きい問題だということが話題になっていたことを記憶しております。国語と英語というのが同じように下がってきているという状況だと認識していたのですが、今回は国語が2.1倍というのを見て、非常に驚いております。いろいろご努力なさっていることは承知しておりますが、この点に関して何かコメントがあればお願いいたします。

(中村教職員課長)

国語に関しましては、例年は50人から60人ほど受験者がいるのですが、今年は受験者が目立って減っております。昨年の受験者は50人で、今年は31人ですので極端に減っております。理由についてはまだ分析できていないのが現状です。

(眞鍋委員)

分かりました。

(新屋委員)

今の関連で、国語や英語や工業などは3倍を切っているわけですが、大学等にPRに行かれていると思うのですが、3倍を切っていて非常に厳しい教科については、重点的にPRしてもいいのかなと思います。傾向としてだんだん倍率が下がってきているということなので、何か工夫してもいいのではないかと思います。難しいと思うのですが。

それともう1点、別選考区分のⅢのところ、他県だけではないと思いますが正規教員されている方が受験されているのは、去年よりは増えていますし合格者がかなり増えています、これはここ数年の傾向として増加傾向にあるのでしょうか。

(中村教職員課長)

他県の現職教員、元職教員の採用ですが、今年度は25人の合格です。去年は15人、その前年は23人、その前年が19人、その前年が16人となっていて、25人はここ10年で言うと一番多いですが、20人台という年も何回かありますので、去年は少なかったから大きくなって見えているだけで、少しトレンドとしては若干上がり気味かもしれないのですが、大きく変わりはありません。

(新屋委員)

受験者は増えてきていますか。

(中村教職員課長)

受験者の推移は今手元には資料がございません。申し訳ありません。

(中村教職員課長)

先ほどご質問ありました県内大学出身者の割合ですが、県内大学出身者の合格者、312人に占める割合ですが、45%でございます。

(新家委員)

ありがとうございます。

報告第2号 重要文化財の指定について（山下文化財課長説明）

去る10月16日に開催されました国の文化審議会におきまして、「旧山岸家住宅」を重要文化財に指定するよう、文部科学大臣に答申がなされました。今回指定される文化財の名称は、「旧山岸家住宅 主屋 板蔵 味噌蔵 浜蔵」です。所在地は白山市白峰、所有者は白山市で、建築年代は資料に記載のとおりです。

文化財の概要でございますが、山岸家は、江戸時代に白山麓十八ヶ村の取次元を代々務めた旧家であり、その住宅は、白峰伝統的建造物群保存地区のほぼ中央に位置しまして、江戸時代末から明治時代前半の主屋、板蔵、味噌蔵、浜蔵の4棟の建物が残されております。主屋は厚い土壁や、2階の出入口など、豪雪に対応した白峰地区の伝統的な住宅形式をよく残しておりまして、3棟の蔵とともに屋敷構えが残る事例として貴重であることから、保存を図るものであります。

資料の4ページは、旧山岸家住宅の位置図です。5ページは、建物の配置図であり、今回指定される建物と敷地を示してございます。また、6ページと7ページには、写真を添付してございます。

今回の指定によりまして、県内の国指定重要文化財の件数は134件、うち建造物は46件となります。今後とも、本県の貴重な文化財の保存・活用に取り組んでまいります。

（徳田教育長）

文部科学省大臣に答申されましたが、正式に指定されるのは通例ですと2～3カ月後でございます。事実上指定されることは決定したという報告であります。

【質疑】

（眞鍋委員）

所有者が白山市ということで、どういう経緯で白山市の持ち物になったのか、それからこの山岸家のご子孫はどうされているのか、分かれば教えていただけますか。

（山下文化財課長）

白山市ですが、平成27年1月に、建物、土地を取得しております。山岸家の方は、今指定されました旧山岸家には居住していないのですが、白峰村の村内には居住しております。

（眞鍋委員）

良かったです。

(徳田教育長)

以降の審議は非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第 30 号 令和 2 年度石川県優秀教職員の決定について

中村教職員課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

報告第 3 号 令和 2 年度いしかわマスター教員の決定について

中村教職員課長が説明した。

・ 閉会宣言

徳田教育長が閉会を告げる。